



第二十二回定例総会開催

調布稲門会
 事務局 下石原3-62-1
 堀紙管(株)内
 Tel 0424-87-1151
 Fax 0424-87-1154
 幹事長 堀 龍之介

昨年五月十七日開催の第22回定例総会において、笠原会長の三期目就任が決まり、会長補佐の副会長六名・幹事長会務補佐の副幹事長二名体制により業務を分担、会運営の円滑化を図る事とし、新役員を選任した。同好会の活動は、会員相互の親睦を一層深めるため各会が積極的なPRを行なった。また会発展へ向けた会員増強の推進、125周年記念募金への協力について改めて強調された。

三期目にあたって

会長 笠原 昌夫
 昭25・理工

第十八回総会でご推挙により、会長職をお受けしてから五回目の新年を迎えました。

就任以来、諸活動の活性化を図るべく、新しい同好会も生まれ、スポーツ・趣味等を通して、先輩後輩がふれ合う機会を多く持てる様に努めてきました。幸い、同好会リーダー諸氏が趣旨を良く理解され、地についた活動が行なわれて、総会、新年会が頂点にあるという形が漸く出来てきました。

また地域社会に少しでもお役に立つ様にと、前会長以来の調布市福祉バザーにも毎年参加し、市民の皆様にも調布稲門会に親しみを持っていただけ様になりました。

会の運営には財政の確立が最も肝要であり、会員の把握と共に、

準会員の制度も作られ、新入会員の募集にも注力してきました。然し、創立二十二年にもなりますと会員の高齢化が進み、死亡、病氣、転居といった退会者が毎年十名を

超える状況で、なかなか増員に至っていませんが、何とか二〇〇名以上の線を確保したいものです。

本年の紺碧は会員増強特集のページを設け、新しいアイデアで編集されましたので、その成果を大いに期待しています。

昨年の総会でもお話しした通り、この度の三期目に際しては、副会長を六名に増員して夫々が業務を分担し、また幹事長を補佐する副幹事長を二名選任して、会の運営に当り、会長は大所からの指導に当るのみとし、新しく設立される

**2004年度
 主な行事予定**

- ・第23回総会
 5月15日(土) 16時
 会場 たづくり12F
- ・福祉バザー
 12月5日(日)
 会場 未定
- ・新年会
 平成17年2月予定
 会場 未定

三多摩支部内の結束と校友会本部との連繋に努めて欲しいという役員諸氏の総意という事でお引き受けた次第で、最後のご奉公と考えています。

最後に、母校創立百二十五周年の募金活動も折り返し点を迎えています。調布稲門会の募金状況は低調で、三多摩支部二十三の稲門会中、下位に低迷し、母校が更なる発展を遂げる為にどうしても必要な募金である事をご理解いただき、お一人・一万円/年のご協力を切にお願い致します。

年頭に当り皆様のご健康を祈念して、ご挨拶と致します。



総会報告

白川 準 一
 昭34・法

五月十七日十六時から調布市文化会館「たづくり」で開催、参加者は七十八名であった。

冒頭、この一年間の物故会員(津田弘敦、山田悦朗、武田良一の各氏)に対し黙祷を捧げた。

総会は、笠原会長挨拶と来賓紹介の後、議事(平成十四年度会務報告、同会計及び監査報告、平成十五年度活動計画、会則改訂、役員選任)に入り、原案通り承認、笠原会長が再選された。

百二十五周年記念事業募金の一環として、当会から大学へ金一封が贈呈され、大学側からは水間副総長が謝辞と新世紀における大学の構想について、また斎藤総長も調査役が同募金の現況について述べられた。

記念講演は、野口智雄社会科学部教授が「流通変化の動向」について、分かり易く解説された。

第二部の懇親会は、調布三田会福島副会長の来賓ご挨拶と粕江稲門会宮澤会長のご発声でスタート。宴が進み、新役員の横顔紹介、各同好会PRが行なわれた後、シャソンの友納あけみ歌手(一文卒)による「名曲の花束」の調べに、雰囲気は最高潮に達した。

最後は、恒例の校歌斉唱とエールを交換し、熱き胸を抱いて散会した。

出席者(役職・敬称略)

〔来賓〕

- (大学) 水間英光、斎藤鉄生、(調布三田会) 福島千冬、矢田部満、宮元俊秀、小川初枝、(中央大学学員会調布) 岩倉哲二、清水豊彦、(昭島) 内田順也、(稲城) 河合一郎、豊間根龍児、山田弘子、(小金井) 小杉山禮子、臼井得二、(国分寺) 谷田成雄、(粕江) 宮澤晃平、関根勝彌、(立川) 駕海量良、(多摩) 新田侃治、金子宏二、(八王子) 山田司郎、酒井陸紀、(府中) 福永寿巳夫、鈴木正明、(武蔵野) 小美濃隆、
- 〔講師〕野口智雄
- 〔会員〕五十二名

※ 新役員

- 〔名誉会長〕 林貞夫、〔会長〕 笠原昌夫、〔副会長〕 石澤文夫、川島義幸、香山弘之、河野瑠美、前島廣司、元木勇、〔幹事長〕 堀龍之介、〔副幹事長〕 大谷暁、山崎正昭、〔幹事〕 諸岡不二男(会計)、秋沢淳雄、磯田要、岩崎英夫、大谷暢廣、小笠原忠八郎、椎原大典、嶋田太郎、白川準一、関口憲三、竹林信行、辰巳正義、中野完二、濁川寿次、野口邦子、野地勲、萩谷京平、本多和行、舞木孝治、水谷努、安田猛〔監査〕 早川政夫、川岸正明、〔顧問〕 秋山一、中村俊一、林和男、土方貢、吉尾勝征

福祉祭バザー

小笠原 忠八郎

昭40・商

十二月七日「イチョウ」の黄葉降る晴天の下、調布駅南口広場で福祉祭バザーに我が稲門会も例年どおり参加しました。

バザー開会宣言の後、調布市社会福祉協議会の名誉会長と会長から挨拶、また市長からもあり、この会が二十六回も続き前年より五団体が新たに加わっているとのこと、又このバザーには安くて生活に大変役立つ物が沢山あるので、市民には好評であるとのこえが多いとお話でした。

例年と変わらず、午前十時のオープン前から良い物を漁ろうとするご婦人達が訪れ、十時からですと断るのが大変でした。定刻十時にアナウンスされると、お客さまが一斉にテントに群がってまいり、大賑わいとなりました。

わが稲門会は、例のごとく早稲田カラーの帽子を被って元気よく販売を開始しました。いつもより高価な品物が少なく売上が心配されたスタートでした。三田会は高めにみえる品物が多く賑わっていました。白門会は我々と余り変わらない様子、明治は学生の応援販売もあって元気にみえました。その他はライオンズクラブ、ロータリークラブ、青年会議所、東京土建関係、高齢者給食関係の組合、遺族会等の団体が目立ちました。

心配された我が稲門会の売上ですが、若き女性会員天野さんの販売力にも助けられて衣料品が比較的よい値段で捌け、また他の品物の販売にも全員が最後まで粘り強く頑張った結果、前年並みに得ることができて「ほっと」し、皆で喜び合いました。最後は担当責任者の河野副会長による終礼で無事終了しました。

なお、引き続き今年度のバザーにも一層のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



ホームカミングデー

「母校の一日」

川島 義幸

昭34・商

平成15年10月19日(日)は、私にとって忘れられない一日となっていました。

当日は心地よい秋日和。私は前年に引続いて稲門祭実行委員でし

たが、この日はお客様として卒業後45年目の「ホームカミングデー」に参加しました。

会場の戸山キャンパスは卒業式以来の45年振り。式典は10時開会、白井総長の挨拶などがあり11時半に閉会しました。

「卒業年次の会」では互いに旧交を暖めた次第です。

12時半から「稲門祭」が始まり、続々と校友や家族連れが入場。メインイベントの福引抽選会になると、大隈講堂前は人だかりの大賑わい。

午後4時から特設ステージにて「世界稲門会大集合」、わが調布稲門会は香山実行委員と私が、新選組のハンテンを着て旗を立てて、「来年のNHK大河ドラマは新選組、近藤勇のふるさと調布は今燃えているゾー!!と叫んで大いにPRしました。

さて、私事ですが、妻を大学へ案内すると張り切っていたのに大失態を演じた。「1時に大隈講堂



前のテント」とメモしたのに、一号館前で待ったためにスレ違ってしまった。人混みで見当たらず三時にやっと再会。丁度この日が大隈会館での二人の結婚40周年記念日、前日まで覚えていたのに完全に失念。そしてカミさんには我々出演のカメラマンと、おまけに仲間達から預かった福引の景品運搬

係。いやはや早稲田鶴巻町生まれのカミさんに最敬礼!!
大学側の発表では、七千名の来場者数は前年より遙かに多い。福引では約二千万円の売上、その内約七百万円を創立125周年記念募金へ寄付する予定とのことでした。誠に思い出深い記念すべき一日ではありましたが。

同好会活動スケジュール

太極拳			硬式テニス		
毎日曜	10:00	通常稽古(5週目④)	毎月1回	例会	深大寺市営コート
3/14	10:00	創立20周年記念大会			
4/29	10:00	第7回太極拳祭 (中野先生一門が集まる)	4/15	会コンペ	川崎国際ゴルフ (場所未定)
5/30	10:00	第3回東京都支部大会	5/13	会・調布三田会コンペ	(")
10/中旬		第6回東京都支部 西地域太極拳の集い	9/下旬	会コンペ	(")
11/中旬		お茶の水中野教室と 合同稽古	10/下旬	会・調布三田会コンペ	(")
(未定)		新年会、暑気払い	3/6 13:30	第60回例会	憩(調布百店街)
			6/26(予定)	第61回 "	" (")
			11/20(予定)	第62回 "	" (")
囲碁・将棋			麻雀		
3~6月	13:00	囲碁将棋月例会	4/月上旬	第9回散歩(新選組・ 土方歳三のふるさと)	高幡不動、土方歳三 資料館、石田寺ほか (行先未定)
第4日曜	7/25	10:00 囲碁夏期大会	11/中旬	第10回散歩	
	8/22	13:00 将棋夏期大会			
	"	13:00 囲碁月例会			
9~12月	13:00	囲碁将棋月例会			
第4日曜	17/1/23	10:00 囲碁正月大会	2/28	新年会カラオケ	祭(西調布)
	17/2/27	13:00 将棋正月大会	4月	花見カラオケ	(場所未定)
	"	13:00 囲碁月例会	5/15	定例総会後カラオケ	祭(西調布)
			9,12月	幹事会後カラオケ	(場所未定)
			社交ダンス		
			毎月(主に土/日)	例会	市文化会館たづくり

新しい仲間を増やしましょう — 親睦の輪を拡げるために —

市内在住の校友数は二千名余ですが、本会の会員数は二百名足らずと低迷しております。今後は、新入会員をもっと増やすことを目標にしたいと思います。

卒業後、様々な分野で活躍中のOB、又は戦いすんだOBの皆様と、肩書きや年令は抜き、ただし各々蓄積されたものは大切に、互いに刺激し合って、爽り多い会にしたいと願っております。

会員の皆様には、ご近所でお知り合いの校友、お勤めの会社で市内在住の校友等に働きかけて、是非とも入会のお誘いをお願いいたします。

詳細についてお問合せは下記に!!
元木 勇 03-3300-4554
川島義幸 0424-85-4178

同好会活動のエネルギーを会員増強にも!!



会員増強担当 川島 義幸
昭34・商

調布稲門会会則第二条(目的)

「会員相互の親睦を深めると共に、地域社会への貢献に努め、早稲田大学の発展に協力すること」

同第三条(組織)「(1)調布市に在住、在勤する早稲田大学の校友(2)校友のファミリーは準会員になることができる」

同第九条「(1)会員の年会費は三千円(2)準会員の年会費は一千円」

右の第二条では、特に調布稲門会の同好会(八部門)活動は活発で、多摩地区稲門会の中でも注目されています。そして、同好会活動が新入会員勧誘の強力なセールスポイントになっている。

五年前に会員の渡辺宏氏がお出しになった入会案内状に「ゴルフや麻雀はじめその他にも数多くの同好会がありますので」と書かれたのを読まれて、早速入会された大谷暢廣氏は、色々な同好会に参加、大いに楽しまれているとのこと。その後調布稲門会幹事としてもご活躍中です。

第三条(組織)の準会員につきましては、昨年末現在で七名ですが、増員を大いに期待したいです。女性パワーは強い。「調布稲門会には女性会員が少ないので女性だけの会合を持ち、増やしたい」という声があり、皆さんも協力し

てあげて下さい。

林名誉会長ご退任時の挨拶文に「在任十八年間で一番印象に残っているのは、当時多摩地区で最高と言われた創立総会だ。昭和五十六年十月、来賓約四十名、調布稲門会会員百四十名が国領の第百生分の講堂に勢揃いした光景は、庄巻の一語につきた」と。あの時、私も参列して凄く雰囲気圧迫された記憶があります。

現在、会員数百八十名。増員の目標は、準会員を含めて二百五十名を目指しております。会員皆様方の絶大なご協力を得て、目標達成に邁進したいと思っております。

夫婦ともとも会員です



下村 邦夫
昭39・法

「スリーバットがなんと六回、今日のグリーンは難しかった」(稲門ゴルフ会にて)「配牌はいいんだけど引きが悪くて、成績は最下位だった」(稲門麻雀同好会にて)。

これ等はいずれも参加後の我がかみさんのセリフである。これを肴に夫婦で酒を飲む。夫婦の共通

項、趣味(造詣の深さに係りなく、中途半端なものでも)が多ければ多い程会話が弾み、更に酒も進む。この共通項作りに最も貢献している一つに調布稲門会がある。

夫婦共々入会して十数年になるだろうか。会員の中でも若年であったが、「忙中閑有」、時間さえ許せば、何をしても「ゴルフ同好会」と「早慶対抗戦」には夫婦で参加してきた。

当時から、今でもさほど変わらないうちが、かみさんのゴルフは惨憺たるもので、現会長の笠原さんや富永さんなどの宜しき薫陶を得て、次第に様になってきた。

「あの頃、奥さんに教えていたのに、今は飛距離で負けるよ」などと言われると、亭主としてはまことに汗顔の至りであるが、一面思わぬ所で素晴らしい知己を得るものだとつくづく思う。感謝、感謝。

「集まり散じて人は変れど」と校歌にあるが、正しくこの会の第一の目的は会員相互の親睦を深めることであり、おかげ様で、私共夫婦は諸先輩や幹事の皆様のご努力で組織化された会の開催する様々な集りを楽しませていただいている。

昨年社会人となった我が娘(早大潜水部卒)も入会するようだ。ほのぼのとした同窓の集いであり、温かい思いやりのある人々との交流ができる貴重な場として、特にご家族、ご夫婦でのご入会を是非ともお薦めしたい。

調布稲門会に入会して



天野 凡子
昭56・一文

私は一年程前に当会に入会させていただきました。卒業して早二十余年、仕事に子育てにと忙しい生活ですが、ふと学生時代を懐かしく思い出すこともあり、この調布地域の同窓の方々とお知り合いになれるといいな、という単純な動機での入会でした。

初めての新年会は大変盛会で、大先輩の方々の深みのあるスピーチを拝聴致しました。その後のおいしいお料理をいただきながらの懇親会はアトラクションを楽しむと共に、多くの会員の方とお話することができました。初対面でもホッとできる和やかな雰囲気と連帯感があり、すてきな会に出会えたことを嬉しく思いました。

又、調布稲門会にはいくつもの同好会があり、私はワングル同好会のお誘いを受け、六月には芭蕉庵や清澄庭園等の下町散歩、十一月には奥多摩深谷散策を楽しみました。準会員の奥様方にも親切にしていただき、一層親睦も深まっ

た気が致します。
年代は異なっても早稲田大学に集まり散じて、再びこの調布の地で集い会う本会には既に長い歴史があります。そこには多くの先輩がいらっしゃいますが、新会員を温かく迎え入れてくださる懐の大きな会だと今実感して居ります。まだ何も解らずお世話になるばかりですが、この先様々な行事にも参加させていただき、少しづつお役に立てるようになりたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

同好会だより

太極拳

中野 完 二

昭和35・文

太極拳同好会は今年二〇〇四年で満二〇年になります。三月十四日(日)には、師家・楊名時先生、NHK教育テレビでおなじみの楊慧先生ほかのご来賓をお招きして調布市総合体育館小体育室で、深大寺太極拳クラブと一緒に二〇周年記念大会を開催いたします。二〇周年という節目の年を迎えて稽古には一層熱が入ることでしょう。

通常の稽古は、毎週日曜日(五週目の日曜日は原則として休み)午前十時〜十一時半に、調布市総合体育館小体育室を会場に、中野完二(楊名時太極拳師範)が指導

し、磯田要幹事らがお世話くださって、四〇名ほどの仲間と、「健康・友好・平和」を目指して、和気あいあいと、八段錦(八つの医療体操)と楊名時太極拳を楽しく稽古しています。

調布稲門会会員とご家族だけでなく、近隣の地域住民の方々が多数参加されています。夫婦、親子揃ってやっつけいらっしゃる方も少なくありません。入会はいつでもOKです。入会ご希望の方は一度見学にいらして、一緒になって体を動かしてみてください。

呼吸を中心にした、ゆっくりとした、無理のない動きですから、どなたにもできます。健康はすべての基本です。



囲碁・将棋

早川 政 夫

昭和30・商



一、昨年度恒例大会の結果

◆囲碁正月大会 一月二十六日
各組優勝者A組床波七段、B組川住六段、C組舞木一級

◆囲碁夏期大会 七月二十七日
各組優勝者A組大谷(暢)七段、B組嶋崎五段、C組藤山初段

◆将棋夏期大会 八月二十四日
元木五段、諸岡一級、早川一級が同勝率となり、時間切れの為決着は次回まで持ち越しです。

◆第三回オール早稲田囲碁大会
九月二十八日日本棋院市谷本院で行なわれ、調布チームも参加して第一回に続き二度目の優勝を狙いましたが、惜しくもBクラス(八チーム)二位に終わりました。

(出場選手と編成)

主将沢井四段、副将塩沢三段、三将大谷二段、四将椎原一級、五将濁川一級、補欠早川二級
(対戦チームと成績)
一回戦、対横浜B 五勝零敗

二回戦、対文京足立 四勝一敗
三回戦、対市川江戸川 二勝三敗
四回戦、対国立 二勝三敗
二、当同好会は、現在会員数二十五名、前記メインイベントのほか毎月第四日曜日の午後一時から午後五時まで、菊野台福祉センターで例会を行っています。自由対局、指導基など気鬱々な集りです。「手軽に出来る頭脳スポーツ」としてボケ防止と友の輪を拓げるためには好適で、ぜひお推めしたいです。

初心の方も、腕に覚えのある方も、一度体験入会で気軽にお越し下さい。老若男女を問わず大歓迎します。入会金は無く、大会費用等のみで、その都度清算方式でやっています。

硬式テニス

岩崎 英 夫

昭和34・理工

硬式テニスの醍醐味は、白球を追いかけて、相手側のスペースに送ったボールが決まった時の爽快感と満足感にあるとも言えます。当然、日頃のストレスも発散されるだけでなく、血糖値・尿酸値等も改善されるようです?

テニスに関心のある方は勿論、これからテニスをやってみようかという方大歓迎です。例会は毎月一回、深大寺の市営コートを利用しています。参加費二百円/回で、駐車場完備です。

桜田倶楽部

東京テニスカレッジ

会長 秋山 一

〒182-0017 調布市深大寺元町二二二
電話(〇四二四) 8213209

堀紙管株式会社

〒182-0004 東京都調布市下石原三三六
電話(〇四二四) 8711510
FAX(〇四二四) 8711514

林建設株式会社

取締役社長 林 和 男
取締役副社長 林 清 一
〒182-8512 東京都調布市小島町一五六
電話(〇四二四) 8611111
FAX(〇四二四) 8611110

不動産賃貸 中村不動産管理株式会社

代表取締役 中村 俊 一
〒182-0035 東京都調布市上石原一〇一
電話(〇四二四) 8212033

ギフト

京王百貨店調布外商営業所

〒182-0004 東京都調布市布田一四五
電話(〇四二四) 8157611
FAX(〇四二四) 8719111

石井自動車株式会社

〒182-0006 東京都調布市西つじヶ丘2-15
電話03(33300) 83211
FAX 03(33300) 83223

深大寺そば 創業文久年間 御宴会・俳句会・御法事

元祖 嶋田 家
〒182-0017 東京都調布市深大寺元町五十二
電話(〇四二四) 8213578
8316555

ゴルフ

香山弘之

昭35・政経

現在登録メンバーは最近加入された二名を含めて三十四名で活動しています。コンペは春と秋のゴルフシーズンに単独のコンペと三田会との合同コンペを各一回合計四回行なっています。

春の調布稲門会のコンペは、桜満開の四月三日川崎国際で開催。十三名の参加者でお花見とゴルフを楽しみました。続いての早慶戦は雨天のため残念ながら当日朝中止となりました。

秋のシーズンの稲門会のコンペは、九月二十九日再度川崎国際で開催。狛江稲門会有志四名を含め十四名で和気あいあいプレーを楽しみました。続いて春に中止となった早慶戦は、十月二十二日レイク相模にて稲門会九名・三田会六名にて開催。上位四名のグロススコアによる対校戦は三打差で快勝、これで二〇〇〇年以降は四勝三敗と一歩リードとなり、有終の美を飾ることが出来ました。

更に十二月一日有志六名が桜ヶ丘C・Cで開催の市民チャリティゴルフ大会に参加、厚東氏が見事五位に入賞されました。

本年度も、できるだけ安くして近い場所での開催に心がけ、平日に実施します。早目にご案内を差し上げますので、日程の調整をお願いいたします。多数のご参加をお

願います。新会員大歓迎です。どうぞ気軽にご参加下さい。



麻雀

濁川 寿次

昭42・理工

11月22日(土)第59回例会を開催し、年三回の例会も無事終了しました。その結果は次の通りです。

第57回大会 3月1日5卓

優勝 河野瑠美

準優勝 加藤比呂志

三位 渡辺 宏

第58回大会 7月5日4卓

優勝 大谷暢廣

準優勝 河野瑠美

三位 関 信明

第59回大会 11月22日4卓

優勝 濁川寿次

準優勝 石澤文夫

三位 関口憲三

本年も例会は三回、時間は一時半〜六時頃、半チャン四回の対戦

を予定しています。

麻雀は、最近「頭の体操・手首の運動によい」と見直されて人気が出てきています。

腕前の方は少しも気にすることなく、皆さんで楽しく麻雀をやっているかと思っておりますので、ぜひ新会員の方々も大いに参加をお願いします。

ワンゲル

村上 勉

昭42・教育

東京下町散歩

古き良き伝統と溢れる情緒を感じたいと深川界隈を訪ねました。爽やかな新緑に包まれた昨年五月晴れの一日、ワンゲル同好会の21名がつつじヶ丘駅を出発、都営新宿線森下駅に降り立ちました。

まず最初に、深川の松尾芭蕉記念館を見学、俳人芭蕉の生涯と俳句を十二分に堪能、歴史の一コマを垣間見て感銘を受けました。

「夏草や兵どもが夢のあと」

「五月雨の降り残してや光堂」

芭蕉は元禄二年春、芭蕉庵を後にし、舟で隅田川を上り、千住から陸路をとって、「奥の細道」紀行と言われる北国行脚に赴く。

芭蕉記念館の後、我々一行は紀伊国屋文左衛門の屋敷跡として伝わる清澄庭園で、園内一面を色どる緑と江戸の歴史をいっばい感じさせる泉水庭園を散策し、其処で

昼食やら自己紹介やらの団樂の一時を過ごしました。

午後は深川江戸資料館まで歩いて、江戸深川の長屋等の生活様式や暮らしぶりをお勉強。下町の「江戸情緒」を充分味わいました。資料館を出てから、横綱大鵬部屋等訪問しましたが、千秋楽の前日とかで門前払い、そのまま有名な富岡八幡宮へ。

日本一を誇る「大御輿」一度は必見の歴代横綱を祀った「横綱碑」を見学。本殿につながる石段右側の台座には奉納日が「享保十二年海辺大工町」(一七二七年にあたる)と彫られていて、また目には見えないが、境内に色濃く漂う「江戸の気配」に触れることができました。今回の旅の期待、下町情緒に満点をつけた。

その後、深川不動尊に参拝し、門前の古びた居酒屋で、ささやかに打ち上げ。楽しく、有意義な晩春の一日でした。



室中公認会計士事務所
公認会計士 室 中道 雄
〒106-0003 東京都港区西新橋1-9-1
プロードリー西新橋8F
電話 〇三(三五一)九六二〇六
FAX 〇三(三五一)九六一〇七

おふくろの味を
楽しみながら歌える店
祭 西調布 一番街

西調布駅前・午後五時半より開店
電話(〇四二四)八五五七五

土地・建物の賃貸管理
東京建興株式会社
代表取締役 土 方 貢

〒102-0022 東京都調布市国領町七-1-13
電話(〇四二四)8313515

新しい食文化をつくる
お米館 YAMADAYA
Hanahan
専務取締役 秋 沢 淳 雄
ISO9001取得
山田屋本店
東京都調布市布田3-1-1
TEL.0424-82-4585(代)

東京北区堀船1丁目16番9号
製鋼原料中間処理工場
旭光商事株式会社
代表取締役社長 富永昌夫 昭30 法卒
電話 〇三(三五一)三二八一
FAX 〇三(三五一)三二八一
〒114-0004

編集係より
会員相互のコミュニケーションのサポートについて、現行は会報発刊が年一回だけで、充分とは言えず、出来れば増刊(7月頃)し、年二回にしたいと考えているところです。ご意見を聞かせていただければ有難いです。
(前島 hmaejima@msi.biglobe.ne.jp)

カラオケ

小笠原 忠八郎
昭40・商

いつも会員増強を希望している

のです。特に女性の参加をお願い
したいです。時にはカラオケの先
生を招いたりして、皆さん上手く
なりましょう。その為には助成金
でも出るようになれば有難いが。
とに角、安く料理もうまく、カ
ラオケができる良い店があればご
紹介ください。

同好会に参加することにより、
思わぬ喜びと暖かい人間関係が芽
生えるかも知れません。自分は歌
がヘタだから、自信がないから、
夜遅く帰ると奥さんが怖いからで
はダメです。本年こそ同好会にお
入り下さい。オンチの人も上手に
歌えるようになります。

この会は稲門会の行事がある時
にしか開催していませんが、皆さ
んのご希望があればいつでも実施
します。たとえ五〜六名でもやり
たいです。
本年度は、二月新年会の後、四
月花見、五月総会の後、九月幹事
会の後、十二月バザー反省会の後
と計五回を予定していますが、皆
様のご希望でいつでもOKです。

社交ダンス

茂 木 秀 樹
昭41・商

社交ダンスはスポーツと芸術が

一体化したものの。年齢や体力に関
係なく、誰でも楽しめる趣味と生
涯学習、更には美容と健康の増進
に最適であり、近年非常に人気高
まっています。

当社交ダンス同好会は一昨年八
月に発足して三年目になります。
当会の指導は元木勇先生(プロ
ダンス教師協会会員、調布市社交
ダンス・スポーツダンス両連盟顧
問)、助川淳子先生(プロダンス
教師協会会員)並に椎原孝子先生
(インストラクター)という三名
の優れた講師がご担当です。



例会は、土、日の午後を中心に
毎月「調布市文化会館たづくり」
で楽しく行なっています。

実は、小生社交ダンスは全くの
未経験者でしたが、一年前、当稲
門会にこの同好会ができたことを
知って初めて参加しました。

社交ダンスは意外に奥が深く、
小生はまだまだ未熟ですが、名曲
のリズムに乗って踊る楽しさは他

同好会世話人のご案内

太極拳	中野完二	0424-85-0523
囲碁将棋	早川政夫	0424-86-0044
硬式テニス	岩崎英夫	0424-87-9610
ゴルフ	香川弘之	0424-83-2735
麻雀	関口憲三	0424-82-6994
	濁川寿次	0424-86-7045
ワンゲル	川島義幸	0424-83-6966
	天野凡子	0424-85-4178
	村上勉	0424-80-2503
	臼井久貴	0424-41-5151
カラオケ	小笠原忠八郎	0424-87-7263
社交ダンス	元木勇	0424-81-6867
		03-3300-4554

年会費のご案内

年会費(3,000円)未納の方は下記振込又は便宜の方
法でお支払をお願いいたします。
なお、総会出席者は納付済です。
・みずほ銀行調布支店 普通預金口座 997965
・郵便振替口座 00120-8-101851

調布の話 ④

嶋田 太郎
昭37・法

の世界では味わえない格別のもの
があります。
調布市内には他にも、社交ダン
ス同好会は沢山ありますが、初心
者が気軽に参加できるようなクラ
ブは実のところ余りありません。
当会では初心者でも安心してつ
いていきますので、未経験者でも
少しも心配なく参加することがで
きます。映画「SHALL WE
DANCE?」の主演を目指す
つもりで多くの皆様がご参加下さ
いますようご案内致します。



©2003ちょうふ新選組フェスタ

幕末茶屋等を作り、「ちようふ新
選組フェスタ」として種々なイベ
ントを間もなく展開する。この機
に調布市を全国的に発信させるべ
く、又地元としても観光振興の活
性化を計るべく共々奮闘中である。
果たして深大寺そば処と近藤勇
との関係は?「講釈師見て来たよ
うなうそを云い」

近藤勇は、一七〇年前(天保五
年)深大寺より西方一・五軒の多
摩郡上石原で豪農宮川久次郎の三
男として生まれ、幼名勝五郎と云
う。この宮川家の神棚には、毎年

「深大寺だるま市」で買った家内
安全五穀豊穡の大きなだるまが供
え飾られていたと云う。勝五郎三
四歳の頃母の背におぶさり、又

五歳のとき母と死別した後は父久
次郎や兄達に連れられて「だるま
市」に毎年来ていた。

近藤勇が生涯を通じて深大寺を
こよなく愛し信奉したのは、七歳
の時農家の三男坊なれど、晴着は
紋付袴に大小脇差しの侍姿のいで
たちで七五三詣をした時からであ
る。それは、彼が幼少より利発活
発で人一倍武芸に興味を持ち、そ
の沈着勇気の素質を父久次郎が見
抜いて将来に大きな期待を寄せて
いたからであろう。

こうして勝五郎はこの地深大寺
を幼少より参拝する度に、諸堂の
たたずまいや周辺雑木林の深さ静
寂さに深く感銘を憶えた。時には
近所の子供達を連れて裏山でチャ
ンバラゴッコをして遊びまわった
と云う。十五歳のとき近藤周助の
養子となり、元服して「近藤勇」
と改名。

多摩を離れても深大寺への郷愁
は強く、多摩道場来所の折は、必
ず親友土方歳三、沖田総司らを連
れて深大寺を参拝、山門下のそば
屋で名物そばを食べ乍ら時局談義
をした。そして上落後もこの味を
忘れなかった。

慶応四年板橋で刑死、多摩人と
して波瀾万丈の生涯をとじた。斬
首の時「南無阿弥陀仏」を唱えて
散ったと云う。

計報

市村文寛氏 (昭17・商)
ご冥福をお祈り申し上げます